



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R6,6,10 No,12

八代小ホームページ

SNS を介したいじめやトラブルから子供を守るために

最近、本校において、SNS を介したいじめやトラブル（以下「SNS いじめ」）が増えています。また、近年、SNS を介した犯罪の被害者に占める小学生の割合が高くなっているそうです。

本校では、子供たちを SNS いじめの被害者にも加害者にもしないようにするために、これまでの取組を強化し、昨年度から一斉に全児童を対象とした「情報モラル教育」を行ったり、全保護者を対象とした「子供を守るための情報モラル講座」を外部機関と連携して行ったりしています。また、SNS いじめが起きた場合は、その都度、学級や学年でその原因や防止策を全ての子供たちに考えさせ、再発防止を促しています。しかし、十分な効果が得られているとは言えません。そこで、保護者の方をお願いします。

お子様にスマホなどの SNS が使える機器を与えられているご家庭におかれましては、お子様を SNS いじめから守るために、次のような対応をしていただきたいと思います。

○ 子供の変化に注意を払う（普段から子供と会話をする）

普段から子供に異変が起きてないかどうか気を配り続けてください。

また、普段から子供と会話することで、交友関係や興味あることなどを把握したり、子供が親に何でも相談しやすいような環境を整えたりしてください。

○ 情報モラル教育とルールを作る（ネットいじめに関する正しい知識を習得する）

子供に対して、インターネットを使用する上での情報モラルを教えながら、ルールを作り、守らせてください。そして、自分自身でリスクを回避する能力を身につけさせてください。

そのために、日々刻々と変わっている SNS いじめの種類や攻撃方法などについて、常日頃から情報を得てください。（本校で行う「子供を守るための情報モラル講座」にも積極的にご参加ください）

○ 定期的に子供のSNSをチェックする

SNS いじめに繋がるような書き込みやコメントがないか、子供の SNS アカウントを定期的にチェックしてください。また、公開範囲に関しても常にチェックしてください。



コラム

「ステメ」ってご存知ですか？ 私は知りませんでした。

「ステメ」とは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の一つであるLINEのプロフィールにある「ステータスメッセージ」の欄（通称ステメ）のことだそうです。いつも人に見られるわけではないこの欄に、悪口を書きはじめが増えているそうです。それも、読む人が読めばわかる悪口を書いて仲間と共有した後に消してしまうそうです。例えば、「あの人の〇〇な態度、マジムカつく」など、その日の学校で起こったムカつくことを、人物を明かさずに書くというものです。追及されても、「〇〇のことを言ったわけではない」と言い逃れできてしまうわけです。

また、LINEの「タイムライン」を使いたいじめも起きているそうです。これは本来、自分の近況仲間に知らせたいことなどを投稿し、LINEに登録している友達と共有できる機能です。メッセージをやり取りする機能には「トーク」もありますが、これは、一度送ったメッセージが相手にまれると、その後に消しても履歴は残ります。しかし「タイムライン」の場合、相手を読んだ後消しても、消したという形跡すら残りません。そのため、悪口を発信し、被害者が読んだタイミグで消して証拠を隠滅するのだそうです。

SNS いじめは、文字や画像が履歴に残るので、以前は証拠が押さえやすかったのですが、最近では、証拠が残らない機能を駆使する確信犯が増えているそうです。

こういうふうに、ネットいじめの種類や攻撃方法は日々刻々と変わっていますので、被害を未然に防ぐためにも常日頃からそれらの情報に対して敏感になる（学ぶ）ことは大切だと思います。